

オリンピック・パラリンピック 2019. 10. 10

講演「夢に向かって頑張ること」

講師 元サッカー日本代表 秋田 豊 氏



「あっきー」体育館に子どもたちの元気な声が響きわたりました。「あっきー」と呼ばれたこの方は、サッカーのJリーグ史上初となる三冠を達成した鹿島アントラーズの中心選手で不動のセンターバックとして活躍し、日本代表として2度のワールドカップを経験した“鬪将”秋田 豊さん。

10月10日（木）に講演会に来ていただき『夢に向かって頑張ること』をテーマに話ををしていただきました。

小・中学校時代の経験について話された後に、高校二年生の時に「サッカーで食べていこうと決めました。」と話されました。サッカーを職業にするのは簡単なことではない。どうすればよいのか『考えた』結果、「人と同じではダメ。何かずば抜けた特徴もたないと・・・・」秀でた足元の技術があつたわけでもない秋田 豊さんが出した答えが『ヘディング』だったそうです。それからは、毎日50本以上ものヘディングを欠かさず練習をして力を身に付けたということです。

その自慢のヘディングでも、自分より高く跳ぶ選手がいて勝てなかった時、高く跳ぶために何をすればよいか考え、筋肉トレーニングでジャンプ力につけることで自分の特徴であるヘディングの技を磨いていきました。

秋田さんは、「夢（目標）をもつと、考えることでどのように行動すればよいのかが明確になり、集中して取り組め、楽しく過ごすことができます。」と熱く語られました。

そんな、秋田さんも鹿島アントラーズ時代に大きく落ち込んだことがあったそうです。それは、足のけがで大好きなサッカーが半年間できなかったことです。そんな時に身近な人からの言葉掛けで、落ち込んで下を向いているのではなく、気持ちを前向きにもつ大切さに気付かされたそうです。

「こうした経験があったからこそ、日本代表選手になるという夢を叶えることができたのだと思います。」と力強く語られました。

*詳細は、「12月号の学校だより」に掲載します。